

（表面）

失業者の退職手当支給申請書

令和 年 月 日			
北海道教育委員会 様			
所属庁 住 所 氏 名			
次のとおり		に相当する退職手当の支給を申請します。	
[基 本 手 当 高年齢求職者給付金 特 例 一 時 金]			
今回の請求日数及び請求金額		令和 年 月 日から 日分	
		令和 年 月 日まで 円	
前回までに支給を受けた日数及び金額		令和 年 月 日から 日分	
		令和 年 月 日まで 円	
退職年月日	令和 年 月 日	求職申込年月日	令和 年 月 日
待 期 日 数	日	給付日数	日
		基本手当の日額	円
上記の者が上記の求職申込年月日に求職の申込みをしていたことを証明します。			
令和 年 月 日			
公共職業安定所長			
記			
1 求職申込みの日から		日間（待期日数）	
2 令和 年 月 日から		日間（請求日数）	
令和 年 月 日まで			

注意事項

- 1 請求の都度新しい申請書を提出すること。
- 2 第2回目以後の申請書には、待期日数の間の証明は不要であること。

(裏面)

受給資格者失業認定申告書

(該当する所に○印を付け、必要な事情を記載してください。)

①失業の認定を受けようとする期間中に、就職、就労、内職又は手伝いをしましたか。	ア した	就職又は就労した月日を記載してください。					
	イ しない	内職又は手伝いをした月日を記載してください。					
②内職又は手伝いをして収入を得た人は、収入のあった日、収入額、その額が何日分の収入かを記入してください。	収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分
	収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分
	収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分
③失業の認定を受けようとする期間中に引き続いて就職先を探しましたか。							
ア 探した	(1) 求職活動をどのような方法で行いましたか。						
	求職活動の方法	活動日	利用した機関の名称	求職活動の内容			
	(7) 公共職業安定所による職業相談、職業紹介等 (イ) 民間職業紹介機関による職業相談、職業紹介等 (ウ) 労働者派遣機関による派遣就業相談等 (エ) 公共機関等による職業相談等						
	(2) (1) の求職活動以外で、事業所の求人に応募したことがある場合には、下欄に記入してください。						
事業所名、部署	応募日	応募方法	職種	応募の動機		応募の結果	
				(7) 知人の紹介 (イ) 新聞広告 (ウ) 就職情報誌 (エ) インターネット (オ) その他 (具体的に記載してください。)			
イ 探さなかった	(その理由を具体的に記載してください。)						
④今、公共職業安定所から自分に適した仕事が紹介されれば、すぐに応じられますか。	ア 応じられる	応じられない理由は何ですか。 (7) 病気やけがなど健康上の理由 (イ) 個人的又は家庭的事情のため (例えば、結婚準備、妊娠、育児、家事の都合のため) (ウ) 就職をしたため又は就職予定のため (エ) 自営業を開始したため又はの自営業開始の予定があるため (オ) その他 ()					
	イ 応じられない						
⑤就職した人、自営業を開始した人又はそれらの予定がある人が記入してください。	ア 就職	(1) 公共職業安定所紹介 (2) 職業紹介事業者紹介 (3) 自己就職	(就職先事業所)				
		月 日から就職 (予定)					
	イ 自営	月 日から自営業開始 (予定)					
上記のとおり申告します。 令和 年 月 日 受給資格者氏名							